【若松東地区 地区防災計画の取り組み】

参加者：約30名
町三役、評議員、婦人自主防災クラブ、体育委員、子ども会　など

● 第1回検討会



【目的】防災意識の普及・啓発、防災講義や防災ゲームを通じて防災の関心を高めるとともに、防災上の町の課題を共有する
【内容】
・地区防災計画とは（趣旨説明）
・若松東の地区特性紹介
・クロスロードゲーム
・グループワーク
「若松東のいいところ／
足りないところ／危険なところ」

● 第2回検討会



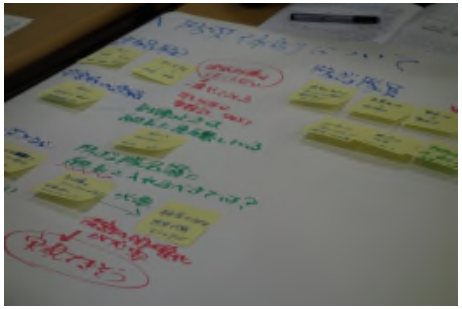
【目的】防災に関する情報の共有と地区防災に関する課題を整理し、目標と行動計画を策定する。また、防災体制の確認を行う。
【内容】
・防災に関する情報提供
・グループワーク
課題の確認、目標に向けた行動計画の検討
・全体ワーク
防災体制の確認など

● 第3回検討会



【目的】HUGを通じて復旧復興段階に地域がどのような状態に成りうるのかを確認し、平常時にできることを検討し、全体共有する。
【内容】
・グループワーク
連絡体制の確認や防災活動の担い手など、地区防災計画検討
・グループワーク
HUG（避難所運営ゲーム）

● 第4回検討会



【目的】これまでの議論が課題の抽出のみで終わらないように今後の具体的な活動についてを検討し、全体共有する。
【内容】
・地区防災計画の完成イメージの共有
・グループワーク
ワールドカフェ方式による地区防災計画の検討
・全4回の検討会のまとめと今後の流れについての情報共有

今後の活動イメージ

① **防災活動に関するマニュアルを作成**

② **組長の役割明確化と、災害時の行動マニュアル作成**

③ **老人会や上地小学校おやじの会との連携検討**

④ **2種類の住民アンケートを実施**

■主催　：若松東　町内会
■協力　：岡崎市、NPO法人岡崎まち育てセンター・りた